

2021広島県小学生陸上競技4種競技低学年大会 要項

- 1 目的 日本一足の速い県民プロジェクトの一環として、子ども達の健やかでバランスのとれたからだづくりと体力向上に寄与するとともに、広島県民のスポーツの普及・振興を図る。
- 2 主催 広島陸上競技協会
- 3 期 日 2021年9月20日（祝・月）
- 4 時 間 受付開始 8:00～ 終了 8:30
（予定）開会式（競技説明） 9:00～
競技開始予定 9:30～
昼食・休憩 11:00～12:30（学年男女により異なる）
競技再開予定 12:00～
終了予定 15:30
表彰式 16:00
※参加人数・競技運営の進行により変更する場合がある。
- 5 会 場 広島県総合グランド陸上競技場（広島スタジアム）
広島市西区観音新町二丁目11-124
- 6 参加資格 小学1年生～4年生の年齢に該当する児童で、2021年度広島陸上競技協会小学生登録（第二次まで）を行っているクラブチーム所属の者とする。
- 7 参加制限 各登録クラブチームの男女合計登録人数の0.6倍名までの人数とする。学年男女別の参加制限は設けない。
【参加可能人数】
（例）1～4年男女合計登録人数×0.6倍名 ※小数点以下切り上げ
37名→ $37 \times 0.6 = 22.2$ 23名まで参加可能
- 8 種 目 陸上競技4種競技大会とする。（1人で4種目を行い、その合計点で順位を決定する）
☆1年生～3年生
・50m・実測走幅跳（試技2回）・ソフトボール投（2連投・1号球）・400m
☆4年生
・100m・走幅跳（試技2回）・ジャベリックボール投（2連投・130g）・800m
- 9 表 彰 各学年男女別に上位8位までに賞状を授与する。
- 10 参加料 1人500円（保険料を含む）とする。※当日、受付にて団体ごとに支払い。
- 11 申込み (1) 受付開始 2021年8月29日（日）午前6時
(2) 締め切り 9月7日（火）午後6時とする。

- 12 申込方法 (1) 広島陸上競技協会のHPから「県小学生4種競技低学年大会申込書」を開く。
(2) 申込書にある必要事項(名前・ふりがな、性別・学年など)を入力し、「(団体名)県小学生4種競技低学年大会申込書」としてデータを保存する。
※男女別シートに入力し、女子は朱書きとする。
(3) 保存した申込みデータをメールに添付して knm2716@cameo.plala.or.jp (指導・普及委員会(石川 和明)まで送信する。
(4) 参加申し込みを行う場合、1名以上の帯同審判の参加が必要である。尚、申込者が25名を超える場合は2名の審判員の参加をお願いする。
(5) 参加児童一人につき1名の保護者引率を認める。また、各チーム2名までの引率指導者を認める。
(6) 申し込み受けの完了は、返信メールが申込者に届いた場合とする。返信メールが届かなかった場合は申込完了者にならないので留意すること。
- 14 問い合わせ knm2716@cameo.plala.or.jp (指導・普及委員会 石川和明)にメールで問い合わせること。その際には、問い合わせ者の携帯電話番号を記載すること。
- 15 雨天対応 (1) 小雨決行とする。天候が思わしくない場合は、午前6時の段階で判断し決定する。
なお、大会当日午前6時の時点で広島市に「大雨警報・洪水警報・暴風警報」のうち一つでも発表され、その後の回復の見込みがない場合や、大会前日午後5時以降開始時刻までに広島市に「震度5弱以上の地震」が発生した場合には、大会を中止する。
(2) 中止の場合、広島陸上競技協会のホームページに掲載する。現地でも中止案内を行う。
- 16 競技注意事項 (1) 2021年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。
(2) 新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに沿って「体調管理チェックシート」・参加承諾書の提出をすること。(別紙参照)
(3) 会場はオールウェザー走路であるので、火傷の危険があるため素足での競技は禁止する。4年生で希望する選手は、スパイクシューズを使用してもよい。使用する際は、9mm以下の平行ピンとする。1~3年生はスパイクシューズ使用不可とする。
(4) スタートは日本語で行う。クラウチングスタート・スタンディングスタートのいずれでもよい。一人2回の不正スタートで失格とする。
(5) ジャベリックボール投は130gで2回連続試技とする。走幅跳の試技は2回とする。
(6) アスリートビブスは、主催者の用意したものを使用し、競技終了後に返却する。
男子…黄地 女子…ピンク地 800mは別ナンバーカードを使用する。
(7) 個人情報のうち、選手名・学年・所属・記録などについて公開する。
(8) 競技中の傷害について、主催者は応急処置のみとし、以後の責任は負わない。
本部でスポーツ傷害保険に加入するが、各チームでも加入すること。
(9) 大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
(10) ウィルス性の感染症等や上記15に示す悪天候を含む、競技会の運営及び安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生、または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、試技回数等を含む競技会の内容を変更することがある。
(11) 熱中症などの予防のため、適度な飲料水の摂取など選手の健康管理に充分留意すること。